



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No. 10
平成31年1月28日

「あたりまえ」に感謝

校長 竹内 康裕

新年・新学期を迎え、本校も気持ちを新たにスタートできました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても今年がさらに良い年になりますよう祈念申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

世界の各地も新年を迎えました。しかしその実際はどうなのでしょう。日の出の時刻や風俗・宗教・習慣の違いなどにより新年の迎え方が違っただけで、私たちと同じような穏やかな新年をどのくらいの人たちが迎えられたのでしょうか。昨年は紛争や差別、貧困、環境問題や大規模な災害、尊い命がいつも簡単に失われてしまった事故・事件が世界の各地から報道されました。また、国内でもたくさんの悲しい出来事があり心を痛めました。清々しく厳粛かつ明るい新年を迎えたくてもそれが叶わなかった人たちが我が国を含め世界中にたくさんいたこと、そして今もいること忘れてはなりません。

そういう方々に比べると、私たちはとても恵まれています。蛇口をひねると安全な水が出ます。居ながらにして遠くの人と会話ができます。街は安全でたくさんの人たちが歩いています。何より「明日」を考えることができます。「あたりまえ」は実にありがたいことです。

今の暮らしがあるのは、これまでのたくさんの人たちの思いや願い、知恵や努力の恩恵です。また、この穏やかな地域に生まれ暮らせる縁のおかげです。私たちはこういった運や縁を生かし、さらに前に進みたいものです。自分たちの成長や幸せの追求と共に、他者を理解し、思いやりの心をもって行動できる力、心の成長を目指すべきだと思います。そう意識し、実践し続けることで私たちの心はさらに豊かになり、毎日がもっと充実することでしょう。わたしたち一人一人の心の高まりによって世の中はもっともっと明るくなると思います。

情報技術の急速な発展に伴い、今、世の中は目まぐるしく変化しています。それに対応できる力も必要ですが、時代や情勢がどんなに変わっても、人として常にもっていなければならない正しい『心』は、それ以上に大切な力だと思います。技術が進歩すればするほど、それを扱う私たち人間の心の在り方・考え方・行動が一層大切となってきます。今年も様々な「心の高まり」について共に考えて参りたいと思います。よろしく願いいたします。

平成31年の始まり、そして平成30年度の締めくくりにあたり、始業式では「願い事を叶えるには、具体的に行動しよう」という内容のお話をしました。

- ・新年の決意を言葉にしたり願いごととして祈ったりすることは大切なこと。
- ・その願いごと（＝目標）を叶えるために努力を続けよう。
- ・最初は漠然とした目標でも、達成に向けて具体的に何をどのように取り組むのかまで掘り下げて考えよう。毎日を丁寧な実践で充実させていると、いつの間にかそこに近づいている。
- ・毎日その願いを具体的に意識し続けよう。
- ・丁寧な日々の繰り返して、将来は必ず開けます。

（生徒の皆さん、覚えてくれていますか？）

■□ 成人の日記念『青年の集い』 ■□



1月14日（祝）、府中の森芸術劇場にて、「青年の集い」が行われました。今年も府中市中学校連合合唱団による合唱の演奏がありました。連合合唱には、十中からも2名の生徒が参加しました。

1曲目はEXILEの「—Love, Dream&Happiness—」でした。

「Love, Dream&Happiness いつの日にか また笑顔で歌い会おう
Love, Dream&Happiness 忘れないよ また笑顔で語り合おう」
の歌詞に合わせて振り付けをしながら歌い、会場は笑顔と温かい手拍子に包まれていました。2曲目の「翼をください」では、客席の新成人も全員立ち上がり、中学生と新成人と一緒にホールいっぱいに響き渡る歌声で合唱しました。会場にいる違う世代の人たちが「翼をください」という一つの曲を通して同じ時間を共有できる素敵な歌声でした。



今回、合唱団で出演した二人の感想です。

「僕は府中の森芸術劇場で行われた成人式で、府中の連合合唱団員として歌いました。最初はかなり緊張していたけれど、歌い終わった後は、すごく達成感がありました。来年も連合合唱団に入ろうと思います。」（1年2組 小澤一輝）

「僕は、成人式に出られてよかったです。華やかな振袖を着た人や格好良いスーツを着ている皆さんの二十歳の方々の前で歌うことができたのは、とても良い経験になりました。今回成人式を迎えた人の中にも中学生時代に連合合唱団に入っていた人もいました。自分も七年後の成人式で連合合唱団の合唱を聞いて中学生時代のことを思い出し懐かしいと思うのだろうなと思いました。これからも連合合唱の人たちと楽しく歌っていこうと思います。」（1年3組 烏 大衣名）

■□ 部活動の活躍 ■□



〈吹奏楽部〉

12月21日(金)、吹奏楽部のクリスマスコンサートが行われました。音楽室は十中生、保護者、教員で満席となり立ち見が出るほどでした。サンタやトナカイの衣装で演出し、クリスマスソングなど4曲を演奏しました。「もう一曲聞きたいなあ」というリクエストに応え、アンコール曲「学園天国」を演奏し、とても盛り上がりました。



〈男子バスケットボール部〉

12月27日(木)～12月28日(金) アルバルク東京杯

アルバルク杯 予選

○府中十中 41-32 神代中 ○府中十中 48-11 法政中 ○府中十中 47-32 明星中
アルバルク杯 準決勝リーグ

●府中十中 46-48 府中八中 ●府中十中 36-48 三鷹三中 準決勝リーグ敗退

・準決勝リーグで試合をした学校は、都大会に出場しています。今回の試合で、これから先、どこを克服すべきかさらなる課題が見えました。この課題を克服すべく練習を重ねていきたいと思えます。応援に来てくださった保護者の方々、男子バスケットボール部に日頃よりご支援・ご協力いただきありがとうございました。

〈女子バレーボール部〉

12月16日(日) 第9ブロックバレーボール冬季研修大会 第2位

■□ ボランティアで活躍 ■□

12月15日(土)に、西府文化センターにおいて、クリスマスの集いが行なわれました。13名がボランティアで参加しました。今回は、ハンドベルの演奏を行いました。当日の朝、講師の先生にハンドベルの使い方やクリスマスソングの演奏を教えてくださいました。本番では、緊張しながらも美しい音色が奏でられ、素敵な演奏になりました。



(ハンドベル演奏の様子)



(ピョンちゃん祭り)

1月26日(土)ピョンちゃん祭りが行われました。5名がボランティアで参加し、子供たちのプラ板製作のお手伝いをしました。優しく声をかけ、一緒に作っている姿はとても誇らしく感じました。片付けが終わると、青少対の皆さんが作ってくれたすいとんをいただきました。

これからも、多くの十中生のボランティア活動が活発になることを期待しています。



■□ 小中連携 ■□



12月19日（水）の5校時に、3月の音楽祭に向けて全校合唱集会を行いました。来年の4月に入学してくる五小の6年生を招待して合唱を聞いてもらいました。迫力ある中学生の歌声をみんな真剣に聞き入っていました。+中生の誇り「合唱」の伝統を小学生にも感じてもらえたと思います。



理科の実験（フレミングの法則）

1月23日（水）の5校時に五小の6年生が中学校の授業を見学に来ました。中1～中3のすべての授業を見学した小学生は、真剣に授業に取り組む姿や、小学校と中学校の授業内容の違いが印象的だったようです。あと2か月後には、中学生になる自分の姿が想像できたのではないのでしょうか。

「馬場大門のケヤキ並木」の保護啓発看板



いた絵を楽しめます。+中の作品は、なみき薬局前に設置されています。

府中市のシンボルである「馬場大門のケヤキ並木」に+中アート部が描いたケヤキ並木保護を啓発する看板が設置されました。ケヤキ並木は、大正13年（1924）に全国で2番目に指定された由緒ある国内唯一の国指定天然記念物です。大國魂神社の参道で、その起源は、康平5（1062）年、源頼義・義家親子が東北遠征の祈願成就のお礼として、苗木千本を寄付したと伝えられていますので、1,000年もの歴史由緒ある貴重な文化財です。ケヤキ並木を歩きながら市内11校の中学生が描いた絵を楽しめます。

保護者の皆様へ

これまで本校としては、保護者の皆様のご協力を得ながら、安全、安心、楽しい学校生活づくりに取り組んできております。

昨年の全校朝礼で「体罰や暴力のない楽しい学校生活づくり」を目指し、生徒に「暴力は絶対にしてはならないこと」について講話を行い、その後、各学級において、安心して楽しい学校生活を送ることができるようにするためにアンケート調査を行いました。

ご家庭におきましても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事等について話し合う機会をもったりするとともに、「人（自分も、他人も）を大切にすること」や「暴力は絶対にしてはならないこと」についてご確認の上、何かお子様についてご心配なことがありましたら、いつでも、どんなことでも学校にご相談くださいますよう改めてお願いいたします。

府中市立府中第十中学校長 竹内 康裕